

2023.4.10 発行


# MARUNAKA TIMES

第32号

## 第23回 マルナカ株式会社安全大会開催 および社内報告会



新しく入社された皆さん



### 安全標語発表

#### 最優秀賞

もう一度 みんなで確認 その手順  
マルナカ株式会社 松本 嘉二郎

#### 優秀賞 (3点)

まいにち ルールを守り 耐れた作業 カくじつに  
グリーンレンタル株式会社 菅野 慎也

見たつもり 聞いたつもりが 事故のもと  
株式会社 福島アスコン 渡辺 幸一

危険予知 みんなの意識で ゼロ災害  
マルナカ株式会社 橋本 武之



ご協力会社のみなさま、たくさんの応募誠にありがとうございました。



# 新年度を迎えるにあたって

令和五年度は「マルナカ株式会社」へ社名変更後に迎える初年度となる。

創業以来慣れ親しんだ「有限会社 丸中建設」という名を変えた理由は三つ。

一つ目。「有限会社」という冠が「老舗」の暖簾となり、企業印象としては良いだろうと思っていたが、世間一般からは「家族経営で小さい会社」等のイメージがあり、新卒採用等の際「マイナス」に働いたこと。

二つ目。創業以来二十八年建設業を軸に営んできたが、目まぐるしく変わるこの時代に、果たして建設業だけで未来永劫生き残れるのだろうか？この先、新事業展開を視野に入れたとき「建設」という名を残しては、それが副業的だと受け取られるのではないかと懸念。

三つ目。地元のみならず親しみやすい名前とイメージキャラクターがあれば「企業イメージ」がさらに向上するのは、この狙い。

以上の理由と併せて全社員実施のアンケート結果を踏まえ社名変更を実行した。心機一転さらなる向上を目指していく。

さて今年度は、復興そして災害復旧工事などの大きなプロジェクトが終了し、震災前の仕事が無い状態に戻る年といっても過言ではないだろう。皆さんはどう感じているのだろうか？

「今年は何事もない」だの「暇だ」とかいう声をよく耳にするのは私だけなのか？

昨年度は「大きく変化（飛躍）する年度」として「新しいことに挑戦する年度」にしようとして、目標を掲げスタートを切った。

一年を経過した今、私自身は何とかが目標へ向け、計画通りに実行出来たのではないかと思っている。

皆さんの中には、日々何となく過ぎてしまった方もいるのではないだろうか？新年度こそは目標を掲げ、それに向かって少しでも行動を起こしてみよう。世界が変わるかもしれない。人生は一度きり、与えられた時間は平等。何かにチャレンジしてみよう。

昨日、サッカーのワールドカップやWBCなど、日本代表選手を目にする機会が多くあった。素晴らしいプレーを魅せる彼らだが、もともと才能があるとはいえず、練習無くてあのパフォーマンスが出来る訳ない。日々苦しい練習を重ね、また食事制限などを強いられ、想像を遥かに超える生活を送っているはずだ。それは常に良いパフォーマンスをするため。3年後、4年後の舞台に臨むためである。時間経過は平等なのだから、加齢から体力の衰えもあるだろう。しかしそこには「経験と知識」でカバーすべく、努力していると思う。

私たちの本番舞台は「現場」だ。その本番で良いパフォーマンスを行うためにも、日々の訓練が重要である。若者には体力こそあるが、経験と知識が不足している。熟練者はその逆。体力的には衰えてくるが、経験と知識が豊富である。

WBC大会で表すと、ダルビッシュ有投手がその「熟練者」の立場だったのではないかと惜しみなく自分の知識や技術を伝え、アドバイスを。素晴らしいリレーだ。

若手は熟練者を敬い、熟練者が若手に技術を伝承する。これが、安全に現場を遂行するために一番必要なことではないだろうか？皆さん一人一人が家族の代表選手であり、社会に出れば会社の代表選手となる。その代表選手が集まり、より良い結果を生むには、相手の立場に立ち考えられることが何より大切だ。お互いを敬う心を持つこと。私たちがこの「優勝」は無事故無災害を遂行すること。

とにかく「大優勝」を目指して安全行動をいっしょに「安全に……」

令和五年四月一日

代表取締役 遊佐 憲雄

